

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

目次



9月7日(月) 工房の内職会議の様様

☆活動報告	2
☆工房ぷらす	3
☆メンバーのつぶやき（小熊・田中）	4
☆メンバーのつぶやき（島田・三木）	5
☆メンバーのつぶやき（小野塚）	6・7・8
☆メンバーのつぶやき（柳川）	8
☆寄付のお礼	8
☆懐かしの写真アルバム	9
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第97回「自動運転車いす」	10
☆運営委員会報告	11
☆お詫び	12



9月12日(土) 企画会議の様様

2020年

8月・9月合併号



活動報告

- ① 掛橋さんはゴミ箱を作っています。他にも和紙ハガキの重さと大きさを計っています。
- ② 矢島さんは会報を出すための住所ラベルを封筒に貼る仕事をしています。
- ③ 野田さんは和紙ハガキを作るための材料に使う牛乳パックを小さく切る作業をしています。
- ④ 工房の皆さんは内職では8月8日から8月12日までテーマが「コロナに負けるな」と言うメッセージカードを内職で作っております。
- ⑤ ゴミ袋にチラシを張る内職がきました。
- ⑥ 企画の皆さんは今急いで8月号の記事を書いています。

朝生さんはゴミ袋にチラシを張る仕事をしています。



メンバー 島田龍司

工房の皆さんは会報にだす記事の内容を話しています。

工房の皆さんはメッセージカードの絵を塗っていました。



共にコロナを
乗り越えましょう!!



港区障害者就労支援施設



工房ぷらす★

今月号から企画の人達が中心で編集して来た会報ですが工房も参加する事になりました。僅か数ページですが工房の人達の日常の作業の様子やメンバーの自己紹介等を載せていきたいと思えます。

題名はメンバー全員で話しあって決めました。色々意見がでましたが最終的に斉藤君が出した案(工房ぷらす)に決定しました。皆で頑張って作っていくのでよろしくお願いします。

8月の主な活動。

- 1)牛乳パックを利用したハガキの製作。今月は165枚完成しました。
- 2)印刷された会報を1枚ずつ折り畳み封筒に入れる作業。
- 3)今月は前月に続きゴミ袋のシール貼りの内職が入りました。240枚が完成しました。

自己紹介コーナー記念すべき第1回は、題名(工房ぷらす)の名付け親、斉藤臣一君です。

「風工房の斉藤臣一です。千葉県習志野市実籾出身です。46歳です。平成4年から、ミキサーでどろどろになった物をハガキに固める作業をしています。好きな事は、宝塚やNHKの朝ドラを観る事です。内職はとても面白いです。」

メンバー 小熊健



記事を書いてくれた小熊さん



斉藤臣一さん



メンバーのつぶやき

PCR検査をうけてみて。

8月11日、PCR検査を受けました。結果は陰性でした。検査を受けることになった経緯は8月3日、人工透析の説明を受けるために通院したのですが(腎臓が悪化してしまいました。)病院の体温検査で38度の熱が出てしまい中止になりました。再度8月11日に通院したのですが、再び37.6度の発熱で中止、そこで病院の指示にしたがい採血、採尿、CT、PCR検査を受けました。先生の話では、発熱の原因は、尿路感染が原因で、コロナの感染の可能性はまずないとのことでした。私自身もまったく心配しなかったのですが、自宅に戻って知人から電話でPCR検査は完全では無く他の感染症や病気にも反応して陽性反応が出る事があると聞いて急に不安に成りました。(私には思い当たるふしがあります。)陽性反応が出ると自分だけでなく多くの人達に迷惑をかけることとなります。風の子会はしばらく封鎖されるだろうし、職員も、濃厚接触者として自宅待機になるかもしれません。考えれば考えるほど不安になり、テレビを見ても、本を読んでも頭に入りません。だから2日後の朝病院から、陰性の連絡を受けた時は、飛び上がるほど嬉しかったです。夏休み中にも関わらず早急に所長に連絡しました。

メンバー 小熊健

どこまで広がる??

新型コロナウイルス

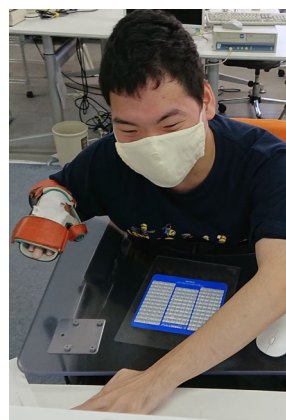
この8ヶ月間、毎日のように新聞やテレビやラジオで、新型コロナウイルスの報道がされています。気が滅入ってしまいます。最近では、家庭内感染が多くなってきているみたいです。昨年までの僕の夏休みは、映画館で映画を見たり、ビールを飲みに「銀座LION」まで行ったりして、学生時代は、軽井沢やホテルのプールに行っていました。今年は『今日から俺は・劇場版』を見に行きたいのですが、この新型コロナウイルスのため、見に行かれるかどうか分かりません。あ〜あ、つまらない夏休みになりそうだなあ〜。



メンバー 田中 聡

そのドラマの題名は「未満警察ミッドナイトランナー」

このドラマはホントは4月にやる予定だったのですが、新型コロナウイルスの関係で撮影が延期になりました。が、7月11日土曜日から放送が開始しました。Sexy Zoneの中島健人とKing & Princeの平野翔が初めて2人で共演をしています。魅力は中島健人が演じる本間快と平野翔が演じる一ノ瀬次郎の2人で警察学校見習いとして自分たちで事件を解決するために悪人の本拠地に乗り込んだりして戦う2人がとてもかっこいいところがすごい魅力です。



メンバー島田龍司

所長に頼まれた企画の仕事をしています。



中島健人が先輩で一方平野翔が後輩です。
自分は2人共好きです。

五輪は・・・可能？不可能？

2020年7月～8月に行われるはずだった東京オリンピック・パラリンピック大会が新型コロナウイルスのせいで、来年7月に延期になりIOCのバッハ会長は、「21年開催が無理なら中止」と言明しました。感染症の専門家によれば長期戦が予想され、完全には撲滅出来ないだろうと言われています。ワクチンや治療薬の研究・開発が世界中で急がれている昨今です。一日でも早く出来る事を祈るしかありません。選手の練習が無駄にならないように。



メンバー三木直人

2004年 みなリンピック（四施設対抗運動会）みんな体力がありました。声援が聞こえてきそうです。

ひとりぼっちの障害者をなくそう！⑤



メンバーのつぶやき

「小野塚、今度は盲腸らしいよ？」

小野塚 航

7月24日深夜、吐き気をもよおして起きる。トイレへ行き軽く吐いてベッドに戻る。普通は1度吐けば治まるのだが、その夜は吐き気がなおも続く。吐いては寝て吐いては寝てを繰り返し、7回吐いたところで空が明るくなり始めた。それで寝るのを諦めてソファにもたれかかる。吐き気は次第に治まってきたが、代わりに右下腹部を差し込むような痛みが襲ってきた。痛みは徐々に激しくなっていき、起きていられなくなって横になるのだが、それで痛みが和らぐ訳でもなく七転八倒しはじめる。その少し前に父が来たので経緯をざっと話し、救急車を手配してもらおう。父が症状と障害の程度を救命士に説明している間に担架に乗せられて救急車に乗り込む。救急車が選んだ先は虎ノ門病院だった。

虎ノ門病院の救急外来に入り、診察台に横になる。痛み止めの点滴を手首に刺され、血液検査のための採血注射を打たれ、レントゲン検査とCT検査を受け、あとはひたすら診断結果を待つ。痛み止めがあまり効かず、必死に痛みを耐えながら待つのだが、2時間経っても3時間経っても結果は出ない。たまに襲う激しい痛みを耐えきれずぎゃあぎゃああと雄叫びをあげながら4時間が過ぎた頃ようやく医師がこう言った「盲腸の疑いがありますのでとりあえず今日は入院しましょう。明日再検査して確定したら手術となります」。入院？ 手術？・・・現実味のない言葉が頭の中をぐるぐると彷徨う中、僕の体は入院病棟へと運ばれていった。コロナ禍なので父もあまり付き添えず、医師の説明を聞き入院の手続きを済ませ、僕の顔を見ると帰って行った。16階の入院病棟の部屋に入ったとき既に日は暮れていた。「そういえば、今日一日何も食ってねえな・・・」点滴からぼとりぼとりと落ちる栄養剤を眺めながら、明日に向けてゆっくりと目を閉じた。

翌26日、再検査の結果虫垂炎と確定したので手術することとなった。医師から手術について説明を受ける。全身麻酔をかけ、腹部に3、4箇所穴をあけ、腹腔鏡と鉗子を挿入して盲腸を切除する腹腔鏡手術という術式で行うらしい。単純な盲腸切除だけの手術なら4、5日の入院ですむらしいが、盲腸が既に破れてしまっている場合は、腹の中に溜まった膿瘍を除去するためのドレーンという管を数日間挿入し続けなければならず、1、2週間の入院となってしまいうらしい。「4、5日入院か・・・」そう勝手に決めつけながら、コロナ禍なので手術前にPCR検査を受け、陰性が確認された上で手術室へと向かった。

6階の手術室は広くて無機質で冷たい感じがした。手術台に移され、数人のスタッフに囲まれて事前説明を受け、麻酔医が全身麻酔をする。鼻の奥へ奥へと管を通すのだが、それがけっこうきつくて辛くてしんどいのだ。「腹が痛くて死にそうなときに、いったいあなた何してくれちゃってるんですか!？」的な感じの咆哮をあげ、抜いた管に血がべったりと付いているのを見て更に絶叫し続けていると、突然意識がなくなった。麻酔が効き始めたのだ。「小野塚さん、わかりますか？」肩を叩かれながらそう言われて目が覚めると、手

術は既に終わっていた。まだ意識がぼんやりとする中、とりあえず一山越えたんだと思いつつながら16階の入院部屋に戻った。

しばらくした後で医師から説明を受ける。盲腸は既に体内で破裂していたようで、溜まった膿瘍を除去するためのドレーンが左右下腹部に1本ずつ挿入されたままだった。おまけに尿道カテーテルも付けられ、左手首には点滴用の針がまだ刺さったままで、全身管だらけになったようで気分は最悪だった。手術後数日は点滴のみの栄養補給だといわれ、つまりそれは数日間は絶食になるということで、つまりそれは1、2週間の入院になるということの意味していた。7月も末になったというのにまだ梅雨は明けておらず、部屋の窓を激しく打ちつける雨音を耳にしながら絶望感に取り込まれていった。

手術翌日、下腹部に付いたままの管を触りながら「ああやっぱり夢ではなかったんだ・・・」とぼやきながら目を開ける。溜まった膿瘍を吐き出そうとしているのか、絶えず腹がぐるぐると鳴り続けていた。ぐるぐるがピークを越えると便意を催す。何も食べていないのに襲ってくる便意を不思議に思いながらナースコールで看護師を呼んでトイレに行く。管が絡まないようにしながら、看護師に支えられながら車イスに移ってトイレに行き、トイレで車イスから便器へとまた必死に移る。便は普通の固形ではなくほぼ液体のものがブシャーっと出るだけで、しかもその色がみどり色なものだからグロテスクさが増した。トイレを終えてベッドに戻り、一息ついてしばらくするとまた腹がぐるぐると鳴り始める・・・そんなふうにして絶食期間が4日続いた。

手術から4日後の7月30日、ようやく絶食解禁となった。小皿と主食と味噌汁とお粥という病院食は、味はともかく栄養バランスが考えられていて、そして少し控えめな量ではあったけれど、久しぶりに口にできる食事は本当に嬉しかった。摂食することで便も普通の固形に戻っていった。けれども今度は血尿が出るようになった。尿道カテーテルを通して流れる赤い尿を見るたびに心が萎えた。その2日後の8月1日、膿瘍がほぼ排出されたようでドレーンが抜かれることになった。腹に1週間挿入されたままだった管を医師がすぽっと抜いた瞬間は爽快だった。その翌日には尿道カテーテルも取れ、血尿も徐々に回復していった。あとは抗生剤投与のための点滴1本となり、かなり身軽になった気がした。

術後1週間、身体は徐々に回復段階にある。尿道カテーテル解除の2日後には点滴も外れ、あとはもう退院を待つだけになった。日中はベッドから起きて車イスに座っているようにして、病院食はほぼ毎食完食し、夜は睡眠導入剤を服用して必死に寝た。そして入院からちょうど2週間が経った8月7日、ようやく退院となった。2週間の入院は想像以上に体力を衰えさせていた。退院直後は足腰に力が全く入らず、立ち上がることもできな



かった。父の厚い支えを受けながら必死に回復を図ったが、日常生活を取り戻すのに2週間近くかかった。

人は皆、いつか必ず生命を終える。だからなるべく、生きている間は死なない程度の病気にはならないほうがいい。そのためにはよく食べてよく寝て、適度に身体を動かし、健康的な生活を心がけるべきだ。

今回の盲腸体験を通して、そんなことを強く痛感した。



柳川の料理コーナー」

「いろいろ冷やし中華。」

1.市販の冷やし中華の上に缶詰めのイワ

シの蒲焼を載せます。おいしいです。

2.市販の冷やし中華にサイコロ状に切っ

た笹かまを載せます。合わせ酢をかけて

出来上がり。「合わせ酢の作り方、ボウル

にしょうゆ大さじ2、お酢大さじ3と砂

糖小さじ1を入れてかき混ぜる。」



風の子会メンバー柳川敬事。



賛助会（寄付）・物品寄付のお礼

賛助会（寄付）ありがとうございます。（8月8日～9月12日）（順不同）

細山 公子様 高野 定雄様 高野 カネ様 井出 義文様

物品寄付ありがとうございます。8月～9月）（順不同）

遠藤 有子様 小野田 和子様



なつかしのアルバム



暑いですねえ。猛暑ですねえ。酷暑ですねえ。
みんなで飲んでどんちゃん騒ぎしたいですねえ。
でも、今はコロナでそれもできないんですよえ。
（写真は2009年の暑気払いです）
担当・メンバー 小野塚



バリアフリー よもやま話

第97回 「自動運転車いす」

風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

コロナ禍でいろいろ大変な状況が続いています。障害のある人たちの介助・支援分野ではどうしても「3密」を避けることが難しいのですが、なんとか工夫をして少しでも「密」を減らすように努力が欠かせません。

車いすも、乗る人と押す人の「密」がなかなか避けられませんが、かねてから開発が進められていた自動運転車いすが、「密」を解消する一つの策として注目されてきています。



JALは7月1日から自動運転電動車いすの無料貸し出しを羽田空港で始めました。高齢者や体の不自由な人、子供連れのお客などの利用を想定したもので、利用者は車いすに付いたタブレット端末で目的地を入力すると、自動運転で運んでもらえます。降りた後、車いすは自分で待機場所まで戻ってくれるので、返却の手間がかかりません。これは横浜市のベンチャーのWHILL（ウィル）株式会社が開発したもので、今年後半に導入予定だったのを、新型コロナの「密」対策の一つとして半年近く前倒しさせたのだそうです。空港での実用化は世界初で、今後3～5年で世界の50空港への導入を目指すということです。

ANAも、2月に成田空港のターミナルビル内で、株式会社ZMPが開発した「RakuRo（ラクロ）」を用いた自動運転の実証実験を行いました。ラクロも自動で走行する電動カートです。利用者は事前に登録した目的地をタブレットで選択するだけです。ラクロの前部はかわいい顔になっていて、目や表情で進行や右左折、停止などを周りに伝えることができます。

日立が開発中の自動運転車いすは、「散歩についてくる車いす」。行きたいところへ乗せていくためのものではなく、散歩に出かける高齢者についてきて、疲れたときには乗れるという車いすです。車いすとの会話もでき、楽しい散歩ができます。家族や介護業者に車いすの位置を送る機能もあって、移送指示や見守りができ、高齢者の「歩きたい」という思いと家族や介護者の安心を同時にかなえられます。

ところで、この自動運転の車いすはこれまでと同じように歩道を走れるのでしょうか。つくば市にある産業技術総合研究所が警察庁に問い合わせたところ、「搭乗者が車椅子を自ら動かしていると評価されるものであれば、歩行者とされる」ということだったそうです（「自ら動かしていると評価」って、ちょっとあいまいですが）。自動車については、改正道路交通法が今年4月に施行され、一定の条件のもとに自動運転車が公道を走れるようになり、自動運転を使用する人も「運転者」として扱われることになりました。自動運転車いすもこれ合わせた解釈なのでしょう。



～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月
に1度集まって様々なことを話し合っています。

2020年8月の運営委員会内容

・ 移転問題報告

- 港区の補助金交付要綱が8月上旬に決裁の見込みである。それにより、風の子会の出費が仲介手数料、転居経費、その他含めて1200万円を超えるくらいになる。何とか、経費を抑えていきたい。
- 転居先の「平成海岸ビル」は8月中旬に賃貸契約を結ぶ予定。5階は9月、4階は1月に入居できる予定である。また5階にキッチンがないのでミニキッチンを置くことにした。

・ 生活介護一本化の提案があった

- 話し合いの結果、生活介護一本化で行くことに決定した。移転が終わった後の一本化を目指していく。

・ 常勤男子職員応募状況

- パート運転手希望の方が8月3日（月）・4日（火）・7日（金）実習をおこなった。
- 常勤男子職員の応募が来た。今後、実習をおこなっていく。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・岡本裕介



お詫び

いつも風の子便りをご購読いただき、ありがとうございます。これまで毎月遅れながらも、会報を出してきました。しかしここ最近では、会報を出す時期が大幅に遅れてしまっています。その原因は、コロナの影響で編集部員がそろわず、企画会議が出来ないので記事分担が出来ない、また編集作業の遅さもありますが、一番は職員を含めて会報が遅れていることへの危機意識のなさがありました。

そこで企画会議を開き、この遅れをどのようにすれば解消できるかをみんなで話し合いました。話し合った結果、本来は8月号として出す予定だった今月号を遅れを解消するために、8月・9月合併号でいこう、ということになりました。なので、1号分、少なくなってしまう。毎月、楽しみにしている皆様には大変申し訳ありませんでした。

これからも企画一同、皆様に楽しい会報を送ることが出来るよう頑張っていますので、よろしくお願ひします。

企画一同

5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願ひします。

賛助会実績（9月12日現在） 84名 3,087,600円

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	和栗頭太郎
塚田 愛基	

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21